

2025年度オープンキャンパス質疑応答

質問のカテゴリー	質問内容	回答
01_岡山大学医学部医学科のカリキュラムについて	岡山大学の医学部医学科でしか学べないことや使えない機器などがありますか。	全国の医学部は、文部科学省が定める共通の「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に基づいて教育を行っています。そのため、基本的な学びの内容は同じです。 岡山大学医学部医学科での学びの特色は、下記が挙げられます。 ・岡山大学病院ではロボット手術、移植医療を強みにしており、患者さんの予後も良好なケースが多いです。移植医療に関しては、岡山大学病院は全国でも数少ない多臓器（肺、肝臓、腎臓、小腸）の臓器移植認定施設臨床でもあります。実習ではロボット手術、移植手術の現場を見られるチャンスがあります。 ・大学における臨床実習は、どの大学でも見学型実習から、診療参加型実習に変更されており、学生は、チームの一員として、Student Doctorとして患者さんの前に出ます。その一環として、本学では学内でのインフルエンザワクチン、B型肝炎ワクチン接種をStudent Doctorが指導医の下で担うプログラムがあります。 ・岡山大学病院は中四国の中で最も早く「がんゲノム医療中核拠点病院」として厚生労働省から指定されており、臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラーが遺伝学の基礎的な知識から、がん遺伝子パネル検査に基づく治療薬の選択など臨床に繋げる授業や実習を開講しています。 ・1年次からPre ARTプログラムで研究室に所属して研究活動を行うことができます。これも他の大学でも実施しているところがあるでしょうが、岡山大学でもそのような環境を整えています。がん免疫分野で「Nature」に論文が掲載された研究チームもあり、早期から最先端の医学研究の場を見ることが出来ます。 ・岡山大学病院は「最後の砦」とされています。希少疾患の患者さんも各診療科で受け入れています。各診療科での実習では、希少疾患の患者さんからたくさんのごことを学ばせていただきます。 ・早期からの1週間の地域医療体験実習で学外へ派遣され、地域医療の現場を体験できます。
01_岡山大学医学部医学科のカリキュラムについて	医学部では留学はどれくらいの人が行っていますか。留学しやすい環境ですか。	例年、1学年（約110名）強のうち、2割程度の学生が3年次の「医学研究インターンシップ」で海外コースを選択し、留学しています。 また、6年次の選択制臨床実習で海外コースを選択することもでき、約10名が海外コースを選択しています。 海外派遣機会を正規の授業科目として提供しています。
01_岡山大学医学部医学科のカリキュラムについて	1年生の頃から医学の勉強ができますか。	はい。1年次は津島での全学共通科目（いわゆる教養科目）に加え、週3日間、鹿田キャンパスで専門基礎科目、専門科目を学びます。また、早期から病院見学や医療体験プログラムがあり、医学を実感しながら学べるよう工夫されています。

質問のカテゴリー	質問内容	回答
01_岡山大学医学部医学科のカリキュラムについて	小児心身医療に興味があります。在学中の授業に精神医療はどのように組み込まれていますか。	・岡山大学には精神科、小児医療の専門教員が在籍しており、精神医学の講義や臨床実習で総論から実践まで体系的に学べる環境があります。さらに、関連分野の研究室で研究二酸化することも可能です。 ・小児心身医療に興味のある在学生が、専門とされている先生にメールをし、お話を聞かせてもらう機会を設定いただいたり、岡山県小児心身学会中国四国支部の学会などご案内いただくようになった例があります。
02_岡山大学医学部医学科について	岡山大学医学部医学科が強みとしている分野があれば教えていただきたいです	岡山大学医学部医学科には下記の強みがあります。 ・移植医療分野：症例数が多く、全国でもトップレベルの実績があります。 ・がん免疫分野：外部研究費の獲得や一流誌への論文掲載など、研究成果が高く評価されています。 ・ゲノム医療分野：遺伝子カウンセラーなどの多職種連携体制、がん遺伝子パネル検査、がんゲノム医療中核拠点病院としての実績があります。 加えて、今後、臓器創生・再生医療にもさらに力を入れていく予定です。
02_岡山大学医学部医学科について	再生医療、iPS細胞について、岡山大学は強みとしていますか。岡山大学の大学院に進学した場合にこれらを学ぶことはできますか。	人に直接使える臓器を作る研究は世界的にも難しい課題ですが、岡山大学では異種臓器移植や臓器再生をテーマとした研究に取り組んでいこうとしています。
03_岡山大学医学部医学科卒業後の進路について	岡山大学を卒業後、他県の大学病院で研修医をつとめることは可能ですか。	可能です。 初期研修医の勤務先は全国の病院から自由に選ぶことができます。学生は自身で初期研修を受けたい病院を見学したり、説明会に参加したりします。面接を受けたい病院を決め、当該病院が設定する面接日に面接を受けます。病院は書類審査や面接の結果を総合的に判断し、マッチング協議会（学外の組織）が運営するマッチングのシステムに取りたい学生を第一希望から登録し、また、学生は初期研修を行いたい病院を第一希望から登録していきます。一定の規則（アルゴリズム）に従って、コンピュータにより組み合わせを決定する仕組みとなっており、在籍大学に縛られることなく、自らの希望する地域・病院で研修することができます。
03_岡山大学医学部医学科卒業後の進路について	卒業後の初期研修または後期研修で岡山県外（東京や大阪）の病院に研修に行く人はいますか。また行くことはできますか。	はい、毎年一定数の学生が東京や大阪など岡山県外の病院を選んで研修に行っています。専門医研修も含め、勤務地を出身県に限定する決まりはなく、全国どこでも研修することが可能です。

質問のカテゴリー	質問内容	回答
03_岡山大学医学部医学科卒業後の進路について	卒業後初期研修を経て、他大学で研究に取り組むことはできますか。	可能です。実際に他大学の大学院に入学している卒業生もいます。岡山大学としては、外部での経験を積む道も尊重しつつ、岡山大学に戻って活躍いただきたいという思いがあります。
04_地域枠について	面接で重視する点は何ですか。 学校の評定は選考にどのくらい影響しますか。	面接はアドミッション・ポリシーに沿って実施します。また、地域枠での面接は、各県での面接も実施し、地域枠の学生が在学中、卒後に何を求められているかの理解、地域への定着についても確認します。 学校の評定の影響など、選考過程の詳細はお答えいたしかねます。
04_地域枠について	地域枠は、一般選抜ではなく、学校推薦型選抜Ⅱで、岡山県、広島県、兵庫県の高校に在籍している生徒のみが対象ですか。それ以外の県の受験生は、地域枠の受験はできませんか。	今年度実施する学校推薦型選抜Ⅱの要件については、まだ公開しておりませんが、例年通り、岡山県、広島県、兵庫県以外の高校を卒業された方でも、出願時に本人又は保護者が各県に居住している場合は出願可能です。 なお、地域枠は、国策により税金を使って地域の医師偏在を少しでも解消するためのものです。地域枠で入学することは義務を負うものであり、各県は義務年限後も地域への定住に、地域住民も含めて期待を寄せています。途中の離脱には、大きなペナルティが課されることもあります。地域医療へ貢献するという強い志の下、出願をご検討いただきますようお願いします。
04_地域枠について	地域枠の出願資格にある「保護者」の定義を教えてください。	募集要項に記載のとおり「岡山大学における保護者の定義は、学校教育法第16条に規定する「保護者」又は民法第877条に規定する「扶養義務者」のうち、現に出願者を扶養している者」をいいます。

質問の 카테고리	質問内容	回答
05_入試選抜制度について	岡山大学公式HP 25年度一般選抜 学生募集要項 P32に、共通テストと個別学力検査等欄に医学部医学科の理科の履修は生物が望ましいとあります。生物を選択した受験生が合格しやすいですか。物理と化学のみを選択した受験生は合格しずらく、不利になりますか。もし生物を取った方が合格に有利な場合、どの程度有利なのかを教えてください。物理と化学のみの選択者は相当いい点を取らないと合格しづらいのでしょうか。どの程度不利なのか教えてください。	事前の注意事項としてもお知らせしている通り、何を取れば有利かなどの受験テクニックにはお答えいたしかねます。 なお、学生募集要項にも記載している通り、入学後は生命科学を学ぶことから、生物を学んでいることが望ましいです。もちろん入学後に生物の教養の補講科目や、専門基礎において、基礎的な知識から学べるよう、大学側も配慮しています。
05_入試選抜制度について	国際バカロレア選抜のうち面接が占める評価の割合を教えてください。また、選考においてCASの内容に注目しますか。	2026年度入学の国際バカロレア選抜の学生募集要項はHPで公開しております。 学生募集要項に記載のとおり、書類審査200点、面接30点です。 学生募集要項に記載している以外の選考に関わるご質問にはお答えいたしかねます。
05_入試選抜制度について	1) 2028年度入試以降、地域枠以外の学校推薦型選抜・総合型選抜（例えば、MD-PhDコース等）を行う予定（可能性）はありますか？ 2) 厚生労働省による臨時増員枠減員に伴い、地域枠定数を現状確保する場合、一般枠の定員の方が減員となるのでしょうか？	1) 地域枠以外の学校推薦型選抜、総合型選抜導入については、現時点では未定です。 2) 臨時定員を含めた総定員数は国に決められているため、臨時定員枠減員に伴い、地域枠定数を現状確保する場合、一般枠の定員が減員されます。
06_在学生への質問	他の大学にはない岡山大学でしか味わえないような授業はありますか。	- 岡山大学は総合大学であるため、低年次に受ける教養教育科目で医学以外の学問分野の専門家が基本的な知識から発展的内容まで知識の裾野を広げてくれます。 - 学部時代から、Pre ARTプログラムで大学院の授業を先行履修できます。専門的かつ最先端の内容を学べ、また、自分が学部の講義で教えてもらっていることが臨床や研究にどのように繋がりを、応用されるのかを理解できることがとても魅力的です。さらに、Pre ARTプログラムは積極的に研究活動を行えるよう、「西日本医学生学術フォーラム」という研究志向のある医学生が日頃の研究活動の成果を紹介し、互いに交流を深める研究集会に参加できるよう大学が支援してくれます。 「早期地域医療体験実習」「地域医療体験実習」は他大学で体験できない授業ではないかと思います。他大学よりも実習期間が長いため、自分の興味のある分野を実習プログラムに組み込んでいただけるかを相談することができます。低学年のときから、地域医療のリアルを見ることができるのは、岡山大学独自かと思います。

質問のカテゴリー	質問内容	回答
06_在學生への質問	国際バカロレア選抜出身の場合、講義の内容理解が難しいと感じたことはありますか。またそのような場合、自主的に補った勉強などがありますか。	内容理解が難しいという声は自分や周りを含めて聞かないです。国際バカロレア選抜に限らず、その他の選抜で入学した学生も、高校時代から医学分野について深く知っている人はおらず、スタートラインは同じだと思います。日本語で学ぶことでつまずきそうになる場合でも、岡山大学の国際バカロレア生は先輩後輩の繋がりが強く、気軽に相談しやすい環境です。
06_在學生への質問	留年率は低いと聞きますが、理由など教えていただきたいです。	留年率が低いのは、下記が理由の一つではないかと思います。 ・岡山大学は授業を受ける講義棟だけではなく、他の棟にも数名の学生グループで勉強できるスペースがあり、学生間で学び合うという環境があります。 ・友達同士で勉強している学生が多いです。また、図書館をはじめ、大学の施設を利用して勉強できることは、家で一人で勉強するのが苦手な学生にとって、とてもありがたいです。 ・先生方がとてもサポーターティブであることだと思います。講義内容で分からなかった点を質問すると、とても詳しく教えてくれます。
06_在學生への質問	英語を使う授業はありますか。	授業は主に日本語で実施されますが、英語の論文や文献を参照することがありますので、直接的に英語を使用する授業ではなかったとしても自分で学習していくことは必要だと思います。直接的に英語を使用する授業としては「基礎病態演習」が挙げられます。グループで疾患について掘り下げて調べる際のディスカッションや調べたことを発表する際に英語を使用します。また、「医学研究インターンシップ」で学内コースに配属される場合でも、配属先の教室にいる大学院生が研究指導をしてくださることもあり、3ヶ月間英語を使って研究に従事することもあります。どの研究室にも留学生は在籍されていると思いますが、研究室を決める際の一つの検討項目としてもいいのではないかと思います。
06_在學生への質問	授業がとても忙しそうです。部活動などの課外活動への取組を教えてください。	・時間を作ろうと思えばいくらでも可能です。複数の部活やサークルに加入したり、バイトをしている学生もたくさんいます。 ・運動部は「西日本医科学生総合体育大会（通称：西医体）」があるため、複数加入するのは難しいかもしれませんが、文化部は複数加入可能です。 ・学部の授業は遅くとも17:00で終わります。この鹿田キャンパスではなく、津島キャンパスの部活やサークルに加入している学生もいます。鹿田から津島まで自転車で30分かかりますが、それでも練習時間を確保しています。

質問のカテゴリー	質問内容	回答
06_在学生への質問	岡山大学医学部医学科を志望した動機を聞かせてください。	・中四国地方での就職を考えており、岡山大学医学部医学科は中四国に多くの関連病院を持っていることが理由の一つです。 ・岡山大学医学部医学科の国際バカロレア生のコミュニティでの繋がりが非常に強いこと、基礎医学研究に興味があるため、学部生のときからPre ARTで研究に携わることができるのは、とても魅力的でした。 ・出身が岡山であること、地域枠を目指すにあたり、低学年から地域医療について学ぶ機会があることが岡山大学医学部医学科に進学した理由です。
06_在学生への質問	岡山大学医学部医学科の国際バカロレア生のコミュニティについて詳しく教えてください。	年に数回交流会を行っています。また、国際バカロレア入試の広報関係を担当されている先生とも密接に関わっていただくことができます。
その他の質問	国外の医師不足の地域で医療に従事していく場合、岡山大学在学中にどのようなことをすればいいと思いますか。	国外でも国内でも地域医療マインドは必要だと思うので、在学中に学んでいけばいいのではないかと思います。市民公開講座や学会などで、海外で地域医療に従事している先生方や、「国境なき医師団」におられる先生方、岡山大学医学部医学科を卒業し、臨床で活躍されている先生方からお話を聞ける機会を自分で探してみたり、学内で紹介される情報にアンテナをはり、積極的に参加してみるのがいいのではないかと思います。
その他の質問	在学中にUSMLE（米国医師国家試験）の勉強を並行させたいです。USMLEの勉強をするコミュニティはありますか。	USMLE取得に向けて勉強するグループを部活として発足させて取り組んでいる在学生がいます。その方達以外の学生でも、USMLEを取得したいと考えている学生は複数名いますので、自然とコミュニティは作られるものだと思います。また、在学中でなくても、卒後、基礎医学研究のために留学した方が、海外で臨床もしたいという希望からUSMLEを受けて米国医師ライセンスを取得することも可能です。
その他の質問	留学生と関わるができるコミュニティはありますか。	医学教育やカリキュラムについて考える学生団体（医学教育学生会）のメンバーが定期的に留学生との交流会を開催しています。また、Lカフェという留学生との交流機会を設ける取組もありますので、利用してみられたいのではないかと思います。

質問のカテゴリー	質問内容	回答
その他の質問	Pre ARTで大学院と学部の授業、部活を両立させることは難しそうに感じますが、実際はどうでしょうか。	大学院の授業科目全てを取ってしまわなければいけないわけではなく、配られた大学院の授業スケジュールから、自分の好きな、またスケジュール上可能な授業科目を履修し、修得した単位を積み上げていくというものです。 大学院生は社会人学生も多く、博士課程のほとんどの講義は夕方に関講されます。学部の授業と重なることは少ないです。 Pre ARTプログラムは、大学院の授業先取りだけではなく、学内の基礎医学系、社会医学系、臨床医学系の各研究室で指導教員と相談しながら、研究がどのように進められているのを見たり、実際に自分で手を動かしてみたりすることができます。1年生から登録することはできますが、6年間のうち、どの年次からでもスタートすることができます。
その他の質問	将来、医療機器の開発をしたいと思っていますが、工学部と医学部、どちらに進学した方がいいですか。	医療機器の開発には、医療系、工学系、アプローチが異なるだけで、どちらも欠かせませんので、どちらに進学しても医療機器の開発に携わることが可能です。岡山大学病院でも「新医療開発研究センター」という部署に、医療系、工学系の教員が所属し、協働しています。